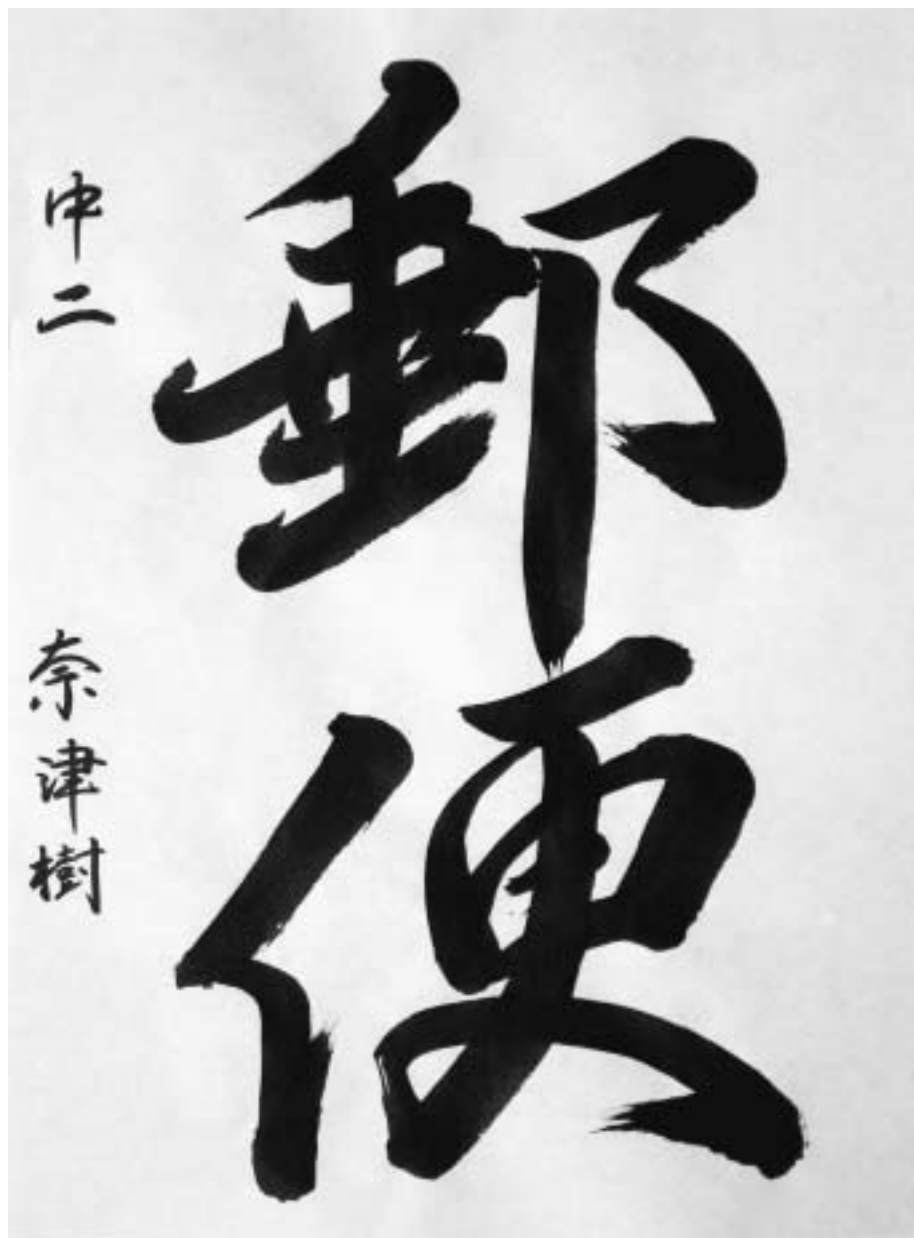




自分の字を堂々と書けるように

留萌中学校 2年
菊地奈津樹さん

日本書道評論社などが主催する昇段級試験で、中学の部の毛筆と硬筆の両方で学生名人となった菊地奈津樹さんに話を伺いました。

書道を始めたのは、お姉ちゃんが通う教室と一緒に行くようになったのがきっかけで、中学生になってからは月に1回程度通っています。

先生からは、毛筆・硬筆の両方の名人になるのは珍しいことだと言われ、嬉しさが大きくなりました。

書道の好きなところは、最初は上手にかけなくても練習を重ねればしっかりかけるようになるところで、今の目標は自分の字を堂々と書けるようになることで、高校生になっても続けていきたいと語ってくれました。

